

# 事業所における自己評価結果(公表)

(児童発達支援)

別紙3

公表:令和4年5月18日

事業所名:児童発達支援ばぶりかランド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	◎		利用人数や訓練内容に応じて、スペースを区切るなど適切な空間づくりがでている。	
	②	職員の配置数は適切である	◎		一人の利用者様に複数の先生を配置することができる時もある。有資格(教員免許、幼稚園教諭、保育士、キャリア教育指導員、ことば音楽療法士、ピアノ・打楽器講師、セルフマネジメント認定講師、キャンプインストラクター)	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	◎		パーテーションを活用し個別療育での集中力、心身のクールダウン等を促している。玄関、トイレ、洗面、訓練室の導線がわかりやすい配置である。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	◎		天井も高く、3面大きな窓に囲まれ、風通しもよく、感染予防での換気を十分に行うことができる。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	◎		教育理念の作成及び浸透	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	◎		評価表においては初回のため今後、集計し把握。クリスマス参観後の保護者アンケートでは集計後個別に返答をした。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		◎	初年度のため、2022年5月公開予定	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		◎		今後取り組んでいく予定
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	◎		虐待防止研修、ことば音楽療法士資格研修、コンピテンシー研修、理念研修、価値観研修、態度研修、技能研修等を全先生で行っている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	◎		予定時間を過ぎるほどのアセスメントを保護者様と行い、ご家族の希望と教室の意向を熟考しながら、個別支援計画書を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	◎		一人一人に寄り添う状況把握をしている。	

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	◎		支援内容は一人ひとりに寄り添った、目的目標を明確にして具体的な支援内容を構築している。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	◎		一日一日の「振り返りシート」を作成し、先生の指導改善を毎回思考している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	◎		全先生の意見だしからはじめ、「チーム力」の向上を重点に置いている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	◎		当教室の特徴は「音楽療育」であり、あらゆるプログラムの開発が可能である。集団プログラム、個別支援計画を担当先生を中心として立案しミーティングを行っている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	◎		子どもの感情にスポットをあて、その日の体調に合わせ臨機応変に対応できるプログラムも音楽療育の強みである。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	◎		支援開始前はもとより、常に子どもたちの教育や家庭環境、学校環境には配慮し、当日は万全な受け入れ態勢でお迎えをしている。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	◎		すべての子どもたちに対し、各先生は「振り返りシート」を作成し、さらに「月間計画」「月間振り返り」を構築している。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	◎		毎回の「振り返りシート」を作成し、保護者様への連絡帳も作成し、保護者様と申し送りを行い、印鑑も頂いている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	◎		定期的モニタリングはもとより、事業所内相談や日頃の「保護者申し送り」により情報収集を行い、改善計画に取り組んでいる。	

関係機関や保護者との

㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	◎		会議には必ず参加をして、意見を発信するようにしている。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	◎		保健センター子ども支援室、相談支援専門員、園からの見学に対応連携を行い支援に活かしている。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	◎		該当なし ただし、アナフィラキシーにおけるエピペン講習、ドラベ症候群の研修や対応は行っている。	
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	◎		緊急時の救急車の対応は事前にしてある。	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	◎		園からの希望があった際に支援内容や事業所での様子をお伝えし相互理解を深めている。	

の連携関係機関や保護者との連携

②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	◎		保護者様や小学校よりサポートを求められた時は迅速に対応できるようスタンバイをしている。	
②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	◎		サービス担当者会議開催時に担当先生が出席している。	
②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	◎		感染予防のため自粛	コロナ禍でも機会があれば各交流や活動に積極的に取り組んでいく意向である。
②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	◎		感染予防のため自粛	コロナ禍でも機会があれば各交流や活動に積極的に取り組んでいく意向である。
③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	◎		毎回の「振り返りシート」を作成し、保護者様への連絡帳も作成し、保護者様と申し送りを行い、情報交換を積極的に行っている。	
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	◎		当教室は「親の学び6割」をモットーとし、保護者様に寄り添った柔軟な対応、支援教育を随時行っている。コロナ禍では個別対応に重点を置き、必要に応じて事業所内相談支援を行っている。	
③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	◎		保護者様との連携プレーが重要になるため、しっかり丁寧に説明を行っている。	
③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	◎		子どもの療育、教育、成長促進には保護者様の協力が必要不可欠のため、支援内容の説明時には、保護者様のあり方を共通意識として取り組んでいる。	
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	◎		保護者様の立場や環境等も理解し、当教室が保護者様の安らぐ場でもあることを目指し、支援対応を行っている。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	◎			コロナ禍で自粛中ではあるが、本来は保護者会を月1回以上は開催し、勉強会、情報交流会を行う意向である。
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	◎		できる限りの連絡ツールを活用し、緊急時にも対応できるよう行っている。	
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	◎		保護者様がいつでも見られる掲示板に情報を掲載している。	
③8	個人情報の取扱いに十分注意している	◎		プライバシーマーク取得企業である。	

保護者への説明責任等

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	◎		障害の状況により寄り添った対応をしている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		◎		コロナ禍で自粛中ではあるが音楽療育が特徴でもあるので、「演奏会」など地域住民の方々に楽しんでもらえる企画は星の数だけあり、実現させたい意向である。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	◎			まだ完全ではないが、マニュアルは適時修正改善を行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	◎		年2回避難訓練、防災訓練及び教育を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	◎		アナフィラキシー、ドラベ症候群の研修や対応を行っている。また専用のマニュアルも配備してある。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	◎		アナフィラキシーにおけるエピペン講習を行い、専用のマニュアルも配備してある。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	◎		ヒヤリハットの記録をつけ、日々の安全対策に活用している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	◎		虐待防止・権利擁護研修受講済み	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	◎		虐待防止・権利擁護研修受講済み	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。